



| 項目番号 | カテゴリ  | チェック項目   | 取組レベル  | 具体的な取組<br>(異などの取組強弱があれば、併せて記載)<br>(【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)   | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 |   |     |   |   |     |     |   |     |     |      |      |    |    |    |      |    |
|------|---|--|--|---|------------------------------|---|-----|---|---|-----|-----|---|-----|-----|------|------|----|----|----|------|----|
|      |   |  |  |   | 1                            | 2 | 3   | 4 | 5 | 6   | 7   | 8 | 9   | 10  | 11   | 12   | 13 | 14 | 15 | 16   | 17 |
| 15   | 環境  | 【生物多様性】<br>・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している  | 基本<br>(必須)   | 取組可能な範囲で、多様な生物が棲息する環境の保全や、自然環境の保全に努めている。また、多様な生物が棲息する環境の保全に努めている。排水は下水道に半分、油水分離槽を通した洗浄水と手洗いの生活排水がある。社外へ出る前の排水で再度簡易的な油水分離をしている。年1回水質検査を長野労働基準監督署に行っている。手洗いの消毒液は使用済「消毒液」を捨てることがない。全てのトイレに手洗いの消毒液を備えている。スクラップも大事な資源。売物であるという意識を全社で持っている。期間満了品としては、油を吸込む新聞紙と折込み広告を利用して、新聞、広告紙は社員が持つ。梱包に使った紙は、紙製容器に利用。お菓子の缶も返却容器を使用。ラベリングは山田産業の古シーツを利用した取組支援所から購入。 |                              |   |     |   |   | 6.6 |     |   |     |     |      |      |    | 15 |    |      |    |
| 16   |   | 【3Rの推進】<br>・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる  | 基本<br>(必須)   | 社内には井戸があり、機械の冷却水として地下水を利用している。冷却水は24時間流れているが、全く汚れることなく出る。排水の処理としては、レール洗浄が最も多い。中性のアルカリ洗剤などを使って石と共に製品を洗い、細かい屑を取っている。油水分離槽を通し、油と金属粉を分離して捨てる。油水分離槽も半年ごと、清掃している。   |                              |   |     |   |   |     |     |   |     | 13  | 14.1 |      |    |    |    |      |    |
| 17   |   | 【水の管理】<br>・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる  | チャレンジ<br>(任意)  | 社内には井戸があり、機械の冷却水として地下水を利用している。冷却水は24時間流れているが、全く汚れることなく出る。排水の処理としては、レール洗浄が最も多い。中性のアルカリ洗剤などを使って石と共に製品を洗い、細かい屑を取っている。油水分離槽を通し、油と金属粉を分離して捨てる。油水分離槽も半年ごと、清掃している。   |                              |   |     |   |   | 6.4 | 6.6 |   |     |     |      |      |    |    |    |      |    |
| 18   |   | 【環境マネジメントシステム】<br>・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している  | チャレンジ<br>(任意)  | ISO14001は平成19年に取得登録(2008年版)、平成29年からISO9001と統合(2015年版)して取得登録している。2026年7月更新審査予定。  |                              |   | 3.9 |   |   | 6   | 7   |   |     |     | 12   | 13.3 | 14 | 15 |    |      |    |
| 19   |   | 【環境情報開示】<br>・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している  | チャレンジ<br>(任意)  | HPでISO14001取得を公開。会社案内にもマークを掲載。社員全員が環境方針(A7サイズ)を携帯し、朝礼で読ませ資料の一つになっている。   |                              |   |     |   |   |     |     |   |     |     | 12.6 |      |    |    |    |      |    |
| 20   |   | 【再生可能エネルギーの利用】<br>・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる   | チャレンジ<br>(任意)  | 2024年5月〜工場屋根上の太陽光発電を利用。約25%の発電量がある。平成29年1月から高圧電力をエネネット電気に変え、2022年7月1日〜実質再生可能エネルギー100%のエネグリーンに変更し、継続利用している。  |                              |   |     |   |   |     | 7.2 |   |     |     |      | 13   |    |    |    |      |    |
| 21   |   | 【天然資源の持続的利用】<br>・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる  | チャレンジ<br>(任意)  | 金属スクラップ分別による再利用(処理・運搬の許可業者へ)。出荷時の隙間梱包材に古紙を利用(市販ビニール隙間梱包材は購入しない)。買入品の隙間梱包材を再利用。再利用できるビニールを分別。  |                              |   |     |   |   |     |     |   |     |     | 12.2 | 13   | 14 | 15 |    |      |    |
| 22   |   | 【汚職・贈収賄防止】<br>・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している   | 基本<br>(必須)   | 就業規則の服務規程で「誠実に職務を遂行」を規程。制裁の章で「不正行為」に該当すると懲戒解雇などを規程。就業規則は社員全員に配布、食堂にも置き社内浸透を図っている。   |                              |   |     |   |   |     |     |   |     |     |      |      |    |    | 16 | 16.5 |    |
| 23   | 【公正な競争】<br>・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している  | 基本<br>(必須)   | 当社は自社製品が無く、全て受注生産である。営業には取締役から不正競争行為に関与しない意向を伝えている。社内情報に関する守秘は全員が誓約書を提出。 |   |                              |   |     |   |   |     |     |   |     |     |      |      |    |    | 16 |      |    |
| 24   | 公正な事業慣行   | 【知的財産保護】<br>・ 知的財産の保護に取り組んでいる  | 基本<br>(必須)   | 当社の財産は金型の取り加工技術。この設計と技術は社内LANでも見られるが、2025年7月版のソフトも導入して管理している。特許が有効な間は、長野市の特許事務所に依頼している。   |                              |   |     |   |   |     |     |   | 8.2 | 8.3 | 9    |      |    |    |    |      |    |
| 25   |   | 【個人情報保護】<br>・ 個人情報を適切に管理している   | 基本<br>(必須)   | 個人情報の守秘については、入社の都度説明し、「守秘に関する誓約書」に各自署名をしている。また新たに「マイナンバー」に対する取り組みを平成27年に作成。社内に周知。その後は入社の都度、個人情報の説明、特出で説明している。   |                              |   |     |   |   |     |     |   |     |     |      |      |    |    | 16 |      |    |
| 26   |   | 【紛争鉱物】<br>・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している   | チャレンジ<br>(任意)  | 取引企業間にて「紛争鉱物調査報告書」を取り交わし、確認している。  |                              |   |     |   |   |     |     |   |     |     |      |      |    |    | 16 |      |    |
| 27   |   | 【サプライチェーン管理】<br>・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる | チャレンジ<br>(任意)  | 仕入れから出荷まで、各部署の担当者が取引先と対応している中で、必要に応じて確認活動を行なっている。EcoVadis社のOSR質問などの場合は、全部署で対応する。  |                              |   |     |   | 5 |     |     | 8 |     |     | 10   | 12   | 13 | 14 | 15 | 16   | 17 |
| 28   | 【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5〜追加)<br>・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している<br>■パートナーシップ構築宣言サイト: <a href="https://www.biz-partnership.jp/">https://www.biz-partnership.jp/</a> | 基本<br>(必須)   | パートナーシップ構築宣言を作成し、2026年4月20日に登録申請、受領メールを待っている状態。                          |   |                              | 3 |     |   |   |     |     | 8 | 9   | 10  |      |      |    |    | 17 |      |    |



上記以外で設定した取組項目

| 独自に設定したSDGsに資する取組                           | 具体的な取組                     | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10  | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|----------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 技能実習生1名(タイ)2026/2/26特定技能1号に資格変更、プレス技能者として活躍 | 2025年12月日本語検定N3に合格 1名      |   |   |   | 4 | 5 |   |   |   |   | 100 |    |    |    |    |    |    |    |
| 定年後の再雇用に年齢制限なし、ノー残業デーの実施(2026年1月～毎水)        | 2026年2月78才の方も希望があったので再雇用継続 |   |   |   | 4 |   |   |   |   |   |     |    |    |    |    |    |    |    |
| 再生可能エネルギー100%のグリーン電気を継続利用                   | 2022年7月～継続利用               |   |   |   |   |   |   |   |   |   |     |    |    |    |    |    |    |    |

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定